

事業活動実績報告書

施 設 名	遍照院幼稚園
教 育 理 念	優しく(人や物にも) 強く(心や体を) 伸び伸びと(一人一人の個性を生かしながら)

1 事業名	陶芸指導
2 実施期間	令和7年9月5日(金)陶芸 形造り、令和7年9月16日(火)陶芸 本焼き

3	取組概要	(取組日) 令和7年9月5日(金)	
		(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること	
		外部陶芸講師指導により、親子で陶土から形造りを行う。	
		(取組日) 令和7年9月16日(火)	
		(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること	
			
		(取組日) 令和7年9月16日(火)	
		(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること	
		素焼きした作品に、一人一人が自分で選んだ色で、「色付け」をし、園庭にて「本焼き」を行う。	

効果検証報告書（継続事業用）

施 設 名		遍照院幼稚園				
教 育 理 念		優しく（人や物にも）強く（心や体を）伸び伸びと（一人一人の個性を生かしながら）				

事業の区分（5領域）		幼稚園教育要領に示された5領域に該当するもの（複数可。最も当てはまるものには◎を選択してください）				
		健康	人間関係	環境	言葉	表現 ◎
1 事業名		陶芸指導				
2 事業概要		外部講師を招き、形造り、本焼きを行い、陶器が出来る過程を学ぶ。				
3 対象学級（クラス名） 対象人数		年長 まつ組、年中 たけ組			30 名	
計 画 時	4 実施体制		取組に必要な環境（人員、事業の遂行に必要な技能やノウハウ等）の保有状況			
			陶芸指導 1名、補助（担任）1～2名。保護者。			
計 画 時	事業後	4についての 効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 専門家による指導と保護者参観による共同制作にすることで、スムーズに形造りが出来た。			
	5 事業のねらい		①想像力を磨く。 ②陶土の感触に親しむ。 ③陶土の塊から陶器が出来るまでを学ぶ。 ④一から物が出来る楽しさを知る。			
計 画 時	事業後	5についての 効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 ①陶土の感触を楽しみながら、コネコネすることで、自分の想像したものを表現する楽しさを 知ることが出来た。 ②陶土の塊から、形になり、陶器が出来るまでを知ることが出来た。			
	6 取組の内容		計画スケジュールを含む詳細な取組内容、経験させたい内容等 ①日本の伝統工芸を知る。 ②形作り、陶土から皿、鉛筆立て、写真立てなどの形を造る。 ③素焼きされた陶土に色付けをして、本焼きし、窯出しをする。 ④現代手工芸展に出展する。 上記のうち、幼稚園教育要領に示された「内容」について、各園で積み重ねてきた取組を発展させた点 陶土を「こねる」ことにより、様々な形造りを体験する。色付けした「絵の具の色」が本焼き することで、変化することを体感する。また、窯出しの時、陶器が冷える時に発する音に 「不思議さ」を感じる。 （継続事業のみ記入）前年度の取組から発展させた点 ①形造りを保護者参観とし、保護者と共同制作とした。 ②形造りを保護者との共同制作とすることにより、「保護者と一緒に作り上げる」という思い が育まれる。 ③色付けの色の種類を5色に増やす。			
計 画 時	事業後	6についての 効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 ①色を増やすことにより、色の選択肢が増え、また、使った色により本焼き後に出る陶器 の色の種類が増えた。また、色を選択する際、時間をかける園児が多い。 ②陶器につける色の数を増やす園児が多く、窯出し後、色の変化に多くの園児が「驚きの 声」を上げていた。 ③「形造りを保護者参観」にすることにより、「親子での共同制作」となり、親子で相談する など「楽しそうに形造りを行う姿」が見られた。			

計画時	7 環境構成例	①形造り(保育室にて)保護者と共同制作。 ②色付け、本焼き、窯出し(園庭にて)
	事業後 7についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 ①触ったことがない陶土に触ることで、指先の感覚を養うことが出来た。 ②陶土をコネコネして、焼き物の面白さを知ることが出来た。
計画時	8 期待される効果 児童の姿	取組を通じて期待される児童の姿や効果等 ①陶芸を通して、想像力・感性が磨かれる。 ②本焼きの「窯出し」の瞬間の陶器の変化を感じる。
	事業後 8についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 自分で心を込めて造ったことで、一つの事をやり遂げる達成感や、ものづくりの面白さ、ものの大切さを知ることが出来た。
	9 効果検証総括	事業を通しての感想、今後の教育・保育に向けて ①日本の伝統工芸を知り、「面白い」と興味を持てた。 ②自分で一生懸命に造ったことで、達成感を味わった。 ③ものづくりの面白さを知った。 ④陶器は落とすと割れるので、落とさないように、「ものを大切にしようとする」気持ちを養うことが出来た。

※必要に応じて、別紙の添付やイラストの活用などにより事業説明を補足しても構いません(別紙は任意様式)。

※幼保連携型認定こども園教育・保育要領における教育のねらいや内容等については、幼稚園教育要領の5領域から構成されていることを踏まえ、本事業では「幼稚園教育要領」とのみ記載しています。